

## 2020年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月13日

上場会社名 モリト株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9837 URL <http://www.morito.co.jp/hd/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 一坪 隆紀  
 問合せ先責任者(役職名) 総務部長 (氏名) 辻 誠 (TEL) 06-6252-3551  
 四半期報告書提出予定日 2020年10月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年11月期第3四半期の連結業績(2019年12月1日～2020年8月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第3四半期	29,942	△12.4	418	△61.5	417	△62.1	167	△83.1
2019年11月期第3四半期	34,177	7.1	1,088	△4.5	1,100	△6.4	991	25.9

(注) 包括利益 2020年11月期第3四半期 △180百万円(—%) 2019年11月期第3四半期 △119百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第3四半期	6.12	—
2019年11月期第3四半期	36.14	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第3四半期	42,933	31,704	73.7
2019年11月期	47,185	32,725	69.2

(参考) 自己資本 2020年11月期第3四半期 31,652百万円 2019年11月期 32,667百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2020年11月期	—	13.25	—		
2020年11月期(予想)				4.75	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年11月期の連結業績予想(2019年12月1日～2020年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	△13.0	600	△65.4	600	△66.3	300	△78.6	10.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信 (添付資料) 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年11月期3Q	30,800,000株	2019年11月期	30,800,000株
2020年11月期3Q	3,420,060株	2019年11月期	3,420,060株
2020年11月期3Q	27,379,940株	2019年11月期3Q	27,427,884株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また当社及び当社の一部のグループ会社は、「株式給付信託 (J-E S O P)」及び「役員報酬B I P信託」を導入しており、株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) と日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (役員報酬B I P信託口) がそれぞれ所有する当社株式については、自己株式に含めております。

なお、株式会社日本カストディ銀行は、JTCホールディングス株式会社、資産管理サービス信託銀行株式会社、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社が2020年7月27日に合併し発足しました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
四半期連結損益計算書 .....	P. 6
四半期連結包括利益計算書 .....	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 8
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 8
(会計方針の変更) .....	P. 8
(追加情報) .....	P. 8
(セグメント情報等) .....	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年12月1日～2020年8月31日)は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、各国でロックダウンや緊急事態宣言が実施され、過去に経験したことのないレベルで世界経済が停滞しました。当第3四半期連結会計期間(2020年6月1日～2020年8月31日)においては、感染拡大の第二波が生じることによる経済の下振れリスクの懸念が高まりました。

このような状況の中、主に服飾資材と生活産業資材を扱う当社グループにおきましては、『存在価値を創造する、あたらしい「モリトグループ」の実現』を経営ビジョンとした「第8次中期経営計画(2020年11月期から2024年11月期の5年間)」を推進し、商品が持つ付加価値に留まらないモリトグループとしての新しい存在価値を創造し、継続的な事業成長を目指しております。当第3四半期連結累計期間におきましては、服飾資材関連では、世界各国において百貨店や量販店が新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環として営業自粛などを行った影響を、また、生活産業資材関連では、国内外の自動車関連の工場が一定期間休業したことによる影響などを受け、厳しい状況となりました。一方で、コロナ禍における新しい生活様式に関連した商品の受注や巣ごもり需要の高まりを受けた新たなニーズを獲得するなど、事業の拡大に努めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高299億4千2百万円(前年同期比12.4%減)、営業利益4億1千8百万円(前年同期比61.5%減)、経常利益4億1千7百万円(前年同期比62.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億6千7百万円(前年同期比83.1%減)となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における、海外子会社の連結財務諸表作成に係る収益及び費用の換算に用いた為替レートは、次のとおりです。

	第1四半期	第2四半期	第3四半期
米ドル	108.76 (112.91)	108.87 (110.23)	107.63 (109.90)
ユーロ	120.32 (128.82)	120.09 (125.16)	118.58 (123.50)
中国元	15.44 (16.32)	15.59 (16.33)	15.17 (16.07)
香港ドル	13.90 (14.42)	14.01 (14.05)	13.89 (14.02)
台湾ドル	3.57 (3.66)	3.62 (3.58)	3.60 (3.53)
ベトナムドン	0.0047 (0.0048)	0.0047 (0.0047)	0.0046 (0.0047)
タイバーツ	3.59 (3.44)	3.48 (3.49)	3.37 (3.48)
メキシコペソ	5.65 (5.70)	5.49 (5.74)	4.63 (5.75)

(注) 1 ( )内は前年同期の換算レートです。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

服飾資材関連では、マスク等の新しい需要に関連した売上高は増加しましたが、カジュアルウェア・ワーキングウェア・紳士重衣料向け付属品の売上高が減少しました。

生活産業資材関連では、ステイホームに伴う巣ごもり需要の高まりを受けスケートボードなどのスポーツ関連商品、均一価格小売店向け製品の売上高は増加しましたが、自動車内装部品の売上高が減少しました。

その結果、売上高は211億5百万円（前年同期比13.4%減）となりました。

(アジア)

服飾資材関連では、アパレル向け付属品の売上高が減少しました。

生活産業資材関連では、中国での日系自動車向けの自動車内装部品の売上高が増加しました。

その結果、売上高は52億5千8百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

(欧米)

服飾資材関連では、医療業界向け付属品の売上高は増加しましたが、アパレル向け付属品の売上高が減少しました。

生活産業資材関連では、欧米での日系自動車向けの自動車内装部品の売上高が減少しました。

その結果、売上高は35億7千9百万円（前年同期比18.8%減）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月期の連結業績予想につきましては、「2020年11月期第2四半期決算短信」（2020年7月13日付）で公表した数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,716,355	9,574,207
受取手形及び売掛金	11,773,061	8,859,817
たな卸資産	5,083,679	5,480,287
その他	1,115,458	685,475
貸倒引当金	△30,645	△32,751
流動資産合計	27,657,908	24,567,036
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,074,904	4,074,783
その他(純額)	5,735,985	5,611,910
有形固定資産合計	9,810,890	9,686,694
無形固定資産		
のれん	2,839,168	2,656,609
その他	1,154,248	1,102,720
無形固定資産合計	3,993,417	3,759,330
投資その他の資産		
投資有価証券	4,396,289	3,781,186
退職給付に係る資産	268,300	264,975
その他	1,120,508	938,938
貸倒引当金	△67,253	△67,431
投資その他の資産合計	5,717,844	4,917,669
固定資産合計	19,522,152	18,363,693
繰延資産	5,601	2,450
資産合計	47,185,662	42,933,181
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,859,108	3,807,577
短期借入金	50,000	50,000
1年内償還予定の社債	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	506,666	530,000
未払法人税等	441,253	134,296
賞与引当金	229,983	179,051
役員賞与引当金	71,595	30,567
その他	2,333,488	1,269,404
流動負債合計	8,892,095	6,400,898
固定負債		
社債	200,000	—
長期借入金	2,674,590	2,230,422
株式給付引当金	31,824	37,664
役員退職慰労引当金	57,249	62,537
役員株式給付引当金	56,428	70,223
環境対策引当金	19,360	19,320
退職給付に係る負債	892,694	883,986
その他	1,635,921	1,523,307
固定負債合計	5,568,069	4,827,462
負債合計	14,460,164	11,228,360

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,532,492	3,532,492
資本剰余金	3,503,243	3,507,603
利益剰余金	26,072,687	25,403,252
自己株式	△2,222,696	△2,227,056
株主資本合計	30,885,726	30,216,291
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,185,435	810,915
繰延ヘッジ損益	946	△9
土地再評価差額金	451,115	451,115
為替換算調整勘定	170,300	192,837
退職給付に係る調整累計額	△25,723	△18,604
その他の包括利益累計額合計	1,782,074	1,436,254
新株予約権	57,697	57,172
非支配株主持分	—	△4,896
純資産合計	32,725,498	31,704,820
負債純資産合計	47,185,662	42,933,181

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年8月31日)
売上高	34,177,031	29,942,830
売上原価	25,021,525	22,192,423
売上総利益	9,155,505	7,750,406
販売費及び一般管理費	8,066,893	7,331,748
営業利益	1,088,612	418,657
営業外収益		
受取利息	20,829	11,245
受取配当金	53,232	53,229
不動産賃貸料	50,507	50,178
持分法による投資利益	50,898	28,435
その他	46,684	54,390
営業外収益合計	222,152	197,479
営業外費用		
支払利息	6,912	10,232
売上割引	63,422	51,534
為替差損	44,087	58,111
その他	96,213	78,962
営業外費用合計	210,635	198,841
経常利益	1,100,129	417,295
特別利益		
固定資産売却益	322,484	867
投資有価証券売却益	85,339	14,991
新株予約権戻入益	367	525
特別利益合計	408,191	16,383
特別損失		
固定資産売却損	67	17,526
固定資産除却損	4,037	3,798
投資有価証券売却損	415	—
ゴルフ会員権売却損	—	1,080
投資有価証券評価損	—	13,442
ゴルフ会員権評価損	—	5,374
事業再編損	5,307	—
新型コロナウイルス感染症による損失	—	26,561
特別損失合計	9,827	67,783
税金等調整前四半期純利益	1,498,493	365,896
法人税、住民税及び事業税	570,954	276,651
法人税等調整額	△63,573	△75,829
法人税等合計	507,380	200,821
四半期純利益	991,112	165,075
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△2,411
親会社株主に帰属する四半期純利益	991,112	167,486

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	991,112	165,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△533,091	△374,520
繰延ヘッジ損益	△677	△956
為替換算調整勘定	△595,798	22,536
退職給付に係る調整額	18,971	7,118
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△1,110,597	△345,820
四半期包括利益	△119,484	△180,745
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△119,484	△178,334
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△2,411

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

一部の在外連結子会社において、IFRS第16号「リース」を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、借手は原則としてすべてのリースを資産及び負債として認識しております。当該会計基準の適用については経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響拡大による会計上の見積りに与える影響)

当第3四半期連結累計期間(2019年12月1日～2020年8月31日)は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、各国でロックダウンや緊急事態宣言が実施され、過去に経験したことのないレベルで世界経済が停滞しました。当第3四半期連結会計期間(2020年6月1日～2020年8月31日)においては、感染拡大の第二波が生じることによる経済の下振れリスクの懸念が高まりました。

このような状況の中、日本、アジア、欧米の各セグメントにおける、新型コロナウイルス感染症に伴う会計上の見積りに用いた仮定は、2020年11月期第2四半期決算短信の追加情報の記載から変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	アジア	欧米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	24,381,730	5,389,914	4,405,385	34,177,031	—	34,177,031
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,825,944	1,914,478	13,340	3,753,763	△3,753,763	—
計	26,207,675	7,304,393	4,418,726	37,930,795	△3,753,763	34,177,031
セグメント利益	1,118,025	385,196	147,667	1,650,889	△562,277	1,088,612

(注) 1 セグメント利益の調整額△562,277千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△434,647千円、その他△127,629千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

当第3四半期連結累計期間より、持株会社体制への移行に伴い、全社費用の配分基準を変更しております。主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用を各報告セグメントに配分せずに全社費用としております。

当該変更に伴い、従来の方法に比べて、「日本」のセグメント利益は182,203千円増加し、セグメント利益の調整額は182,203千円減少しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	アジア	欧米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,105,182	5,258,336	3,579,312	29,942,830	—	29,942,830
セグメント間の内部売上高 又は振替高	935,972	1,662,987	43,153	2,642,114	△2,642,114	—
計	22,041,154	6,921,323	3,622,465	32,584,944	△2,642,114	29,942,830
セグメント利益又は損失(△)	434,018	214,803	△70,164	578,658	△160,000	418,657

(注) 1 セグメント利益の調整額△160,000千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△156,061千円、その他△3,938千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。